京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵稅一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太郎
印刷人 松久紳一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所 京城新報社

朝鮮と宣教所（三）

予の京城に入るや予は一の不誠實なる朝鮮人牧師の戸別に基督教信徒の家を訪問して外國宣教師の教會を脫して純然たる朝鮮人の獨立教會を設立する事を継續するの趣意書を配付し故らに遠行者の注意を惹くが如き言辭を以て其の企劃の官憲の後援に據れるものなりと公言せるものある由を聞けり予は宗教師輩に對する日本政府の態度を熟知せるが故に何等躊躇する所なく斯くの如き公言の眞實に非ざる旨を宣教師等に傳へ其の翌日寺内子爵と會見の際叙上の事實を語りたるに子爵は事の眞相を諒知せし如く左の如く答へたり 總督府は斯の如き問題には何等關係なし各種の人民は予の姓名を利用し印刷物中に於て時々予が其の企畫を賛助せらるゝものゝ如く公言するものあり斯くべきは多數の實例なり信徒は此の土地に群集し予が發言に渡米を求め且つ金錢上の援助を與へたるが如く公言すと雖も此等は一として眞實なるものあるべしと

日本政府の基督教に對する態度は次の事實を見るも之を知るに難からず即ち總督府の高官には純然たる基督教徒數名あり予は京城官公立學校視察中數多の基督教徒たる監督教師に會見したり又予を訪問せし朝鮮駐劄軍日本將校中大佐にして基督教徒たるものあり元予の生徒にして基督教を信奉せる一の憲兵大尉は開城に於て宣教師に懇切なる援助を與へたることあり予は又た郵信局吏員巡查等にして基督教徒たるものに會合し殊に平壤に於ては控訴院職員中七名の基督教信徒あるを見て覺す驚嘆せり

●關釜聯絡月況

去る十二月中に於ける關釜聯絡概況を聞くに旅客は上り六千八百七十三人下り五千五百六十二人なるが之を前年の同期に比すれば上り千六百七十一下り千三百七十五の共に増進を示し貨物は輸入四千四百二十三噸輸出五千四百四十一噸前年同期に比較し輸入に於ては五百八十二噸の減少を見れど輸出に於ては千二百五十四噸を増加せり尙輸出入品の重要なるものは輸出生果、野菜、和酒、麥粉、金巾、綿糸、縄叺等にして輸入大豆、生魚、鮮魚、干魚、牛皮、牛脂等也

●木浦棉花廻着高 新年を向へてより棉花の出廻りは稍々活氣を帶び來り天候の良き日和には一日に三百乃至五百個前後の廻着を見るに至り去る一日より八日迄一週間の出廻高は二千二百卅八個に上り之れを昨年十一月中の千百廿個同じく十二月中の六千六百七十七個に累計せば總數實に一萬百四十一個の多きに達したり而して前記の統計は同地の會議所檢查を經たるものに限り實際の廻着高に於ては約一割の多數と見て差支なからんと云ふ

●名所舊績の保存 曩に總督府に於ては古刹存保法を設け建築物其他に關して適當の保護法を設くる可く其草案中なりし事は既報の如くなるが是れと同時に朝鮮各地に於て歷史上注目に値すべき名所舊蹟に對し其保存案を設け後世久しく之れを古人の遺蹟として傳ふ可く總督の適當と認めたるものに對して多少の保護を與ふべき事に決定し目下其草案中なりといふ

外事一束

●英國 外交社會に於ては例の露獨協商問題につき多大の感動を惹起しつゝあり英清新聞は波斯灣に於けるバグダッド鐵道の終點は是非共英國に屬せざる可らずと提言し政府の旨を受けたる獨逸フォッシシェ、ツァイツング紙は右に駁し斯くの如き讓歩は獨逸に取り全然不可能の事なりと激しく反對したりと

●米國 英獨の暗闘識者を俟て知らんや軍一少佐過般倫敦府廳にて若し英國が一朝某國より脅かさるゝ場合は米國は人口の有らん限り費すべき一弗も有らん限り英國の血族なるが故に英國に應援すべしと公言したるが大統領タフトは公然譴責を申渡せりと某國に於ては何今の暗擦は近き將來に於ける公國の伏線のみ少佐の言裡機微を竊ふに足る

●土國 本邦に大使館設置の公表を爲したりと報ずれ共我當局未だ何等の交渉に接せずと治外法權問題以來杳として聞かざりし使臣交換問題再び起る今日尙は無條約の關係にある我國が將來に於ける彼と使臣交換の必要ありや否やは目下我が商賈二三あるのみ如き同國には此の經費あらば若かず英、米、獨、露駐劄

●大使の機密費を増して充分活動せしむるを機密費の不足は由來我が使臣の口癖也

●米大使の更迭は才氏が健康上の都合なりといふも近時日米關係圓滑ならざるが爲めなりといふものあり後任は駐伊大使ストレーズ氏にして近く事實として現はるべしと吾徒豈誰れ彼れを論せんや要は日米國交をして五十年以前の如からしめ得る人を歡迎するのみ近時外交官の移動漸々多少留意を要す

山中鹿之助

第五十八回 西尾麟慶演

倍て尼子義久の忠臣山中鹿之助幸盛は天下に英名を顯はし、此の鹿之助一人あるが爲め毛利を始め近國の諸大名、尼子に指すものも御座いません、是が爲に暫く播州上月の城は靜謐に治りました故、義久の八重姫は妹九重姫を此の上月の城に迎へんと思ひ、直に使者を差出しましたる處、中城門中納言大ひに驚き給ひ、先達て山中鹿之助よりの迎ひと申し來りし者姫、並に腰元柵と連れて立出たるが其の後何んの便りもなく、如何爲せしかと不審に思ひ居りたるに、今又八重姫より使來りて始めて彼等に誘拐されし事相判りたり、と流石に中納言驚き給ひ、中にも御簾中は身も世もあられぬ思ひ、尼子の使も驚きまして、諸方に手分けを爲して姫の行衛を探すと、丹波の國人江山に虎丸と云ふ賊あつて容貌善き女を誘拐すと聞き、偖は姫は其者の爲に連れられてゆきたるかと愈以て驚きました、此時西國にては海賊が諸方に出沒致し非常な騷擾を往來の船が致する由聞へましたが、戰國の時なれば之を制する大名もなく其儘に捨置きます、之を鹿之助は大層歎きまして、西國廣しと雖も僅なる賊海を制する者もなく、禁廷へ納むる財寶を奪はるゝを知らぬ顏して打過ぎるは武門の恥辱、我一人馳せ向つて彼の盜賊どもを搦め取り、海路を開き快く通船を爲さしめんと、大將尼子義久に此の事を告げ是から勇氣ある者を撰び小舟一艘を商人船に仕立て、夫へ乘り播州の濱邊から彼方此方と海賊船を探しまし、他の船は海賊に出會たくないと云ふ、此の船は海賊に出會たいと云ふ、隨分變つた事があるもので、勿論大阪の戰ひ果て後日本に身の置所なき浮浪の徒が皆海賊になりまして、支那の海岸をあらし廻りました、八幡大菩薩と云ふ旗を建てましたので、之を八幡船と云ふ、餘程亂暴したと見へて、明時代の書物には倭寇と名付けて、恐しく亂暴なものと書て御座ひます、八幡船の乘り込みの日本人が無暗に暴ばれる、蠻人が暴ばれたと書てある、幾何日本人でも蠻の人間ではない、何んで蠻人と書たかと段々調べて見ましたが鎧兜に身を堅めて暴れ廻つたから、ソコデ支那人が蠻人と歷史に書きました、夫は後の話ですが此の鹿之助は居りました、永祿元龜天正時代は俗に廿八天下と稱へ、彼方でも軍さ此方でも戰ひ、無政府で御座いました故、海賊杯は天下晴れて往來を致します、夫を鹿之助が取押へやうとする、然るに前回に申上ました横田兵庫之助、大谷古猪之助、九重姫、浮舟、腰元柵杯を乘せました船が、明石を出船して、上月の地方を指して進ひ、折しも山中鹿之助が例の小船で海賊船を探しながら是へ來かゝつた○「オーイ其處へ往く船、早く地方へ返せ」鹿之助之を聞きまして偖は颶風かと空を見ましたが、日の暮合で海面を紅ひに照す夕日の光り、別段颶風のかゝりさうな樣子もない、何んで今向ふから來た船が地方へ返せと云ふかと、不審に思つて居ります内に、段々傍へ近寄て參りました漁船○「オイれ前の船は何處から來たか知らないが、早く地方へ漕ぎ戻しなせヱ、怪我をすると叶ねヱ」鹿「コレ〳〵何んで地方へ漕ぎ戻せと云ふか○「オイ、お前さんは見たところ御武家樣だから此の邊の樣子を知らないのだらうが、向ふに見へるアノ船は荒浪の藤太と云ふ海賊船だ、播州沖は勿論、瀬戸内海までアノ海賊の爲に何の位ゐ難儀をしたか判らない、お前さん方も怪我をすると叶ねヱから早く船を返へせと云ふのだ」鹿「何に、向ふに見へる彼の船は海賊が乘込み居ると、夫は千萬忝けない能く敎へてくれた」○「サア〳〵判つたら早く船を戻さッせヱ」鹿「夫れ艫を押せ、オーと、答へて鹿之助の家來ども、早縮にしめりを吳れて沖を目懸けて漕ぎ出した、漁船も驚ひた○「オイ〳〵沖へ往つては危ねヱ早く地方へ漕ぎ戻しなせヱ」鹿「イヤ千萬忝けない○「譯を云ひながら沖へ船を出す奴もねヱもんだ」鹿「吾等は海賊を召捕んが爲に是へ出向ひた者だ」と云ひすて浪を切て進んで參りました。

廣告

質屋開業 土藏落成 確實懇切
纏りたる額は郵便電話にて内容御報次第御相談に參上可仕候
櫻井町通り五二
戸部質店（電話九八五番）

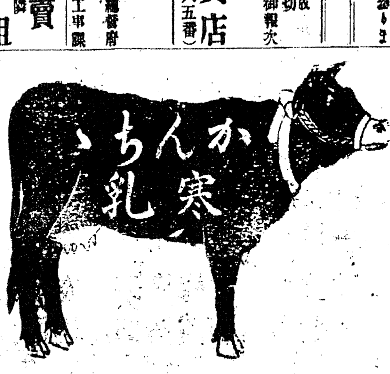
購買廣告
●輕便鐵道用車輛其他 二百組
右購入ス詳細ハ一月十七日朝鮮總督府官報ヲ見ルヘシ
朝鮮總督府度支部稅關工事課

瓦斯コークス販賣
京城黃金町高等演藝館隣
酒井組 電話一一四九番

●エールリッヒ氏新梅毒注射藥到着致候御希望ノ者ハ御來院アレ
●**内科小兒科** 外科花柳病
●**入院隨意**
京城旭町三丁目
十全病院 電話七三七番

開店廣告
今般水道用具一式販賣致候に付ては各位の御便利を計り取附工事並修繕等精々勉强致し御用命の節は遠近を不問直に參上可仕候間多少に不拘御注文の程奉願上候
水道用具 ナム並ホース 附屬金物一式
京城明治町一丁目五十七番戸
旭商會 豊田由松

廣告
生等時勢に鑑み相計り茲に二三人の協同事業として左記の場所に分析所を設置し主に砂金其他金鑛地金の賣買を目的に開業經營仕候に付ては數量の多少に拘はらず懇切着實を旨とし實地試驗分析を爲したる結果に因り何程にても買收可仕尙は亦た精製分析を爲し精製地金として取扱ひ可申に付此段江湖の諸賢に謹告仕候頓首
尙は地方在住の各位にありては價格表記小包にて御郵送相成候はゞ迅速に正確なる試驗を遂げ代金は直に御指定の方法に依り送金可仕は勿論一般に各位の御便宜相謀り候精神に付何卒將來御愛顧を賜はり候樣偏に希望仕候
明治四十四年一月
京城南大門通二丁目
朝鮮分析所 電話九百十九番
李潤廣
金時鉉
岡宗治



大韓醫院 陸軍衛戍病院 **特定御用**
一年間の滋養供給は寒中に在り滋養の効果は寒中に最も大なり寒中滋養を欠けば病に罹れ易し世は命あつての物種
牛乳なる哉而も寒乳なる哉
荒井牧場
京城南山 電話千五十六番 電話廿二番

◎果樹山林苗木種子養成販賣
◎桑特用植物
◎蠶種養蠶諸材料
大豆粕過燐酸肥料、新輸入
油粕米糠木灰其他肥料類
右確實を旨とし貴需に應じ候間御用命奉願上候
京城旭町二丁目
朝鮮勸農株式會社
電話三六八番 振替口座朝鮮三七八番

東京電報（十六日）

▲各皇帝の祝詞
我帝室より房子内親王殿下御成婚の御通知に對し英、獨、西班牙、瑞西の各國皇帝陛下及米國大統領より各御祝詞の御返翰到着したりと漏れ承はる

▲對英關稅問題
對英關稅問題の交渉は二月下旬英國總選擧終了後直に加藤大使と英國政府との間に交渉を繼續したるが別に日英通商條約の締結を爲し之に依り關稅率の修正を爲す可し英國に於ては之に同意を表するに至る可し更に十七日着英の矢部大藏技師の說明に依り該交渉を進捗せしむべしと

▲山風艦の進水式
長崎三菱造船所に於て建造工事中なりし海風の姉妹艦なる大驅逐艦山風は愈々來る廿一日午前十時三十分を以て同造船所に於て盛大なる進水式を擧行する事に決定したり

▲選文博士へ賜金
賢き邊りの御沙汰に依り故太政大臣大久保利通卿故内務卿顧問木戸孝允公勅選碑の選文に從事せる故正三位文學博士重野安繹正四位文學博士三島毅の兩氏に對し各金五百圓又大久保利通卿の碑文を揮毫せる日下部鳴鶴氏に對し金二百五十圓の御下賜金ありたり

▲劈頭の質問演說
朝鮮併合當時緊急勅令を以て財政上の處分を爲せしは違憲なりとて花井代議士は議會劈頭に質問演說をなす筈なり

▲政友會と會社令
朝鮮會社令に就ては政友會内に反對の聲盛なり議會の問題となるべし

▲電信不通と回復
今回吹雪の爲め不通となりたる東京と東北及北海道との使用電信線は漸次回復し十七日を以て全部復舊の見込なり

▲農科大學長交迭
多年東京帝國大學農科大學長の職にありし理學博士松井直吉氏は昨年來胃癌に罹り療養中なりしが近く辭表を提出するに決せり後任に就きては早くも農學博士横井時敬氏の呼聲高し

雜録

●寺内總督の寄附
寺内總督は今回京城府廳を經て京城民團の四小學校、二幼稚園及高等女學校へ基本金として金五百圓を寄附したり之に就き大庭府尹峯尾民團助役は各學校長を率ひて挨拶の爲め伺候したるに總督は教育方針としては理論を避けて實用に適するやう教育すべく諄々として訓示したりと

●總督の下關安着
十六日午前六時三十分當地出發東上の途に就きたる寺内總督の一行は十六日午前八時下關上陸同八時五十分同驛發東上着京は十七日午後なるべし

●明石總長の出張
明石警務總長は村田第二分隊長を率ひて十五日寺内總督を見送りて釜山へ出張せり

●明石總長以下歸任
寺内總督見送りの爲め釜山に出張したる明石警務總長小松局長藤波通譯官の一行は十六日午後八時南大門着歸任すべし

●技術官會議（第四五日）
農業技術官會議は十五日も例により午前十時より開會木内長官中村課長以下三十餘名列席農商工部提出の協議事項並に各技術官より提出の協議事項に付委員の協議會を開き午後四時解散したるが其の内容は農商工部提出の第一回及第二回技術官會議の決議事項に關する件の外作況報告、風土の着用、短期農事講習會、農產品評會、農業統計、勸業委員の設置狀況、農業團体の利用其の他十數項に付協議す尙ほ各技術官より提出の協議問題に付て協議したり十六日も例により出席十五日の協議事項に付引續き協議を爲せり

●技術官會議終了
目下開會中の農業技術官會議は十六日を以て全部終了の豫定なりしが協議事項の討議未だ全く終了せざるを以て一日間延期し十七日を以て會議終了の豫定なりと云

●總督邸の午餐會
山縣政務總監は十六日總督邸に木内農商工部長官以下目下技術官會議に列席中の菊地殖產中村農務の兩課長各技術官三十餘名を招待し午餐會を開き席上山縣總監の挨拶木内長官の答辭あり午後一時散會したり

●實業學校長會議
既報の如く十七日より内務部長官室に於て開會の筈なりし各道實業學校長會議は都合により來る十八日に會期を延長したり尙ほ當日一同に對し山縣政務總監の訓示あるべしと

●永興灣と要港
政府は咸鏡南道永興灣を海軍要港とする旨本日の總督府令を以て發表せり

●鎭海軍港の所轄
日本の海軍管區は從來四區なりしを鎭海軍港設置せられたる爲め五海軍區となれり然れども政府は當分鎭海軍港に鎭守府を置かず佐世保鎭守府の所管となすことになれり

●總督府文官陞叙
十六日の官報を以て朝鮮總督府文官の陞叙發表されたるが左の如し

判事前田信兆、同大橋鐵之助、同長谷川八二郎、同花田銀太郎、技師今川唯市、鐵道局參事三本武重、稅關長矢野久三郎、陞叙高等官三等

判事、結城顯彥、同戸田忠正、同多賀谷熊雙、同肥田健吉、同安田繁太郎、同依田弘、同塚原友太郎、同大友欧次、檢事志水高次郎、技師久門雄二、書記官矢野義二郎、事務官佐々木三郎、事務官赤倉吉三郎、事務官佐々木正太、陞叙高等官四等

技師加賀種二、判事長野一郎、判事山内銀次郎、技師大川彌一郎、技師山崎忠直、判事齋藤宗四郎、技師中野深、判事齊篤世、判事池田敬、事務官大枝義祐、府尹竹崎六次郎　陞叙高等官五等

判事井上文司、通譯官高島五八、事務官高橋康世、稅關監視官釜澤金太郎　陞叙高等官六等

●長官府尹の打合
大庭京城府尹は今正午京畿道廳に出廳し新たに脫稿せる面制其他に付き道長官と種々打合せをなしたりと

●棉花會社進捗
朝鮮棉花會社組織計劃は其後着々進捗愈よ韓國棉花會社と合併し資本金を五百万圓棉花栽培面積は約十五万町歩とし外に勸農模範場十數個所を增設するの方針にて東西紡績重役は來京に會し具体的の組織案を決定する由

漢城銀行總會　增資に決す
漢城銀行にては十五日廣通館に於て株主臨時總會を開き三百萬圓に增資の件を議題として協議したるが出席株主六十五名にて增資を可決したり尙總督府は別項記載の如く十五日附を以て漢城銀行令を發布したり

漢城銀行令
第一條　株式會社漢城銀行は本令の定むる所により株金金額の拂込前と雖其の資本を增加する事を得

第二條　前條資本の增加は新株募集の方法に依るものとす

第三條　明治四十三年十二月三十一日現在の株主に對する新株割當の場合に限り株主總會の決議を經て積立金を以て之か拂込金に充當する事を得

第四條　新に募集する株式は明治四十三年十二月三十一日現在の株主に割當つるもの〻外明治四十三年勅令第三百二十九號により下附せられたる恩賜公債の所有者にして當該公債證書を以て拂込みに充當するものに限り之れを引受けせしむ

前項の規定により恩賜公債を以て出資したるもの〻氏名は之れを定款に記載することを要せず

第五條　前條恩賜公債を以て出資したる株主にして株金拂込の日より十年間其の所有する株式を讓渡又は質入せむとするときは定款に定むる所により朝鮮總督の認可を受くべし

第六條　株式會社漢城銀行は左の事項に付朝鮮總督の認可を受くべし

一、取締役及監査役の就任
二、株主に對する利益金の配當
三、積立金の使用
四、他の銀行又は會社の代理業務

第七條　株式會社漢城銀行は其の業務に關し左の報告を朝鮮總督に提出すべし

一　毎月實際報告書
二　毎月末諸貸出金個人別現在高表

附則

本令は發布の日より之を施行す

十八銀行下半期狀況（四十三年度）
十八銀行京城支店下半期の營業成績を聞くに總勘定出入の積數は五千四百九十八萬九千四百餘圓に達し前年同期に比し三割九分强の增進にて同店より他の各支店に對する資金供給の分量も非常の增進にて三百十四万五千圓に上りしといふ而して純益は金一萬一千四百三十六圓九十九錢にして前年同期に比し二割四分の增進に過ぎざるは金利低落と同時に預金貸出の利鞘を減縮せる爲めなりと尙ほ同店過去五ヶ年間の後半期に於ける營業分量と總勘定出入の積數を以て比照せば左の如くなりと

明治三十九年下半期	一四、九三三、五〇六
明治四十年下半期	二五、〇五七、六七八
明治四十一年下半期	二九、六五五、三二一
明治四十二年下半期	三九、三三九、四八〇
明治四十三年下半期	五四、九八九、四三八

支配人中西喜久男氏談

概略申上げることに致します四十二年以來不景氣の陰影に慣れつゝ推移した商界は四十三年下半期も尙ほ其惰性に支配せらるゝなきやを憂慮したのでしたがさなきだに由來下半期の上三月は概して市場閑散の時期なるが上に日韓關係の根本解決は直に出來る樣で出來ず各地概ね凶作に失敗し頑迷の徒時に或は騷擾を惹起し良民は不安の境に彷徨するといふ鹽梅で人事交通貨物の運輸は阻害せられ從て貨幣市場も亦閑散を免れ能はずして預金は增加すれども運用の途に乏しく金利は愈低落するが堅實なる資金の需用を喚起しない僅かに少許の夏物仕入資金土木工事資金の需用ある外舊債の更新繼續を以て融通の現狀を維持するに過ぎぬといふ有樣でしたが偶母國大洪水の影響で米價の一時的騰貴となり次で中秋節季を控へて鮮人向服地の輸入を增し多少資金の需用移動を生じたのを初めとして八月末日韓合併に次て朝鮮に關する新官制の發表は官吏の移動となり諸種の恩賞賜金の下附となりまして曠古の仁政は茲に紛々たる騷擾を根絕し民心其の堵に安んずると同時に母國人の出入頻繁となり時恰も秋作の豐穰は愈商界に活氣を加へ地方小作料の回收も良好で母國資本家の朝鮮不動產に對する放資を促がし鮮人間婚姻の流行に因て商況の購買力を高めた結果當半期下三月は市況漸次活躍して土木工事に關する資金は勿論冬物仕入も相當に資金を需め綿布綿糸の移入金地金穀類牛皮牛脂糠等の移出方面にも資本の需要亦少からず漸次期末に近づくに從ひ穀類買出綿布糸幷に米國產鹽鯨の移入資金の需用增進と相俟て歲末決濟資金の需要を惹起し財界は日に繁忙の觀を呈し近事稀なる好況を示したりしも未だ以て日鮮財界に蟠れる金融緩漫の大勢を一變するに至らず金利は依然として低落の歩調を續けました爲めに當半期全体を通じて貨幣市場は寧ろ平穩を持續したるものといふ事が出來ると思ひます云々

●朝鮮煙草專賣
朝鮮には米國煙草製造會社もあり外人の既得權は併合當時の宣言にて之を保さる約束なれば旁々煙草專賣法は當分之を布かざる方針にて其他國專賣の如きも今之を施行するは列國の視聽を敏ならしむる嫌あれば一切專賣法は見合はすことに決定せし由なりと

●土地調査と仁川
仁川民團樓上に於ては十六日午後一時より仁川市及府内の大地主を招集し土地調査上に關する協議を開き便宜を與へる協議をせし由

●廣島縣人會
十四日午後六時より壽町の井門樓に於て廣島縣人會の新年宴會を開きたるが來賓は秋山法學博士、今村警視にして出席者七十名に達し東拓囑托道家氏幹會の辭を述べ一同歡を盡して散會したるは午後十一時過ぎなりき

選擧界の形勢
…大勢漸く定まる…

京城民團議員撰擧の形勢は連日の紙上撰擧界の表裏と題して報道せし如く朝令暮改殆んど端倪すべからざるの混亂を極め居りしが一昨十五日に到り漸く一段落を告げたるもの〻如し今茲に各部に亘りて之を詳報せんに

▲東部再詮衡
東部繁榮期成會は十四日梅の家に總會を開き候補推撰の協議を爲せしが其結果六名の詮衡委員を擧げ右委員等は十五日食道樂に會合して終日協議を凝らし左の諸氏を撰定したり

釘本藤次郎、梶原末太郎、關繁太郎、古城梅溪、石井新、大橋清三郎、淵上貞助、木島平兵衛、田村義次郎（以上十名）

▲田村氏と近藤氏
別項、東部側候補者中に列記せる田村義次郎氏は嚴に本紙の所報の如く固く推薦を辭退せしも岡部繁榮期成會の希望と有志者との勸誘に依り遂に承諾せりと又近藤佐五郎氏も當初より其意志なく現に公然之を宣明せし程なるが有志諸氏の切望もだし難く之を承諾せる者の由

▲中部形勢一變
中部は其地域殊に狹く且つ候補者たらんと欲する野心家十數名を算せる爲め兎角統一に惱み居りしが十五日夜森勝次氏邸の會合に於て左の如く改定したり

林田金次郎、小林藤右衛門、和田常一、城六太、秋吉富太郎、中村再造、增田三穗、山口太兵衛、森勝次、松永達次郎（以上十名）

▲西部漸く定る
西部は尙二名の候補者不足ありしが撰定に就ては各町との折合上頗る苦心を要したるもの〻如し而して十五日各町々に有志會を開き其結果撰定し來りたる候補者を示めし同夜不知火旅館に聯合大會を開きたるが遂に左の如く決定せり

三好和三郎、大村保太、池田長次郎、高橋章之助、海津三雄、深水清、梯浦源治、曾我勉、中島司馬之助、榊原長緒（以上十名）

▲一騎打の驍將
別項豫撰に漏れた候補者希望者亦尠からず是等の人々は必ず一騎打として陣頭に驀進すべく期待せらるゝが其顏觸れは目下の處左の諸氏にして孰れも相當の地盤と勢力とを擁し居れり

田中始一郎、皆川廣濟、前田熊市、

▲詮衡委員暗闘
中部の詮衡委員は始め本町より四名明治町より六名を擧げ七分八裂の奇觀を演じつゝ漸く十四日所報の如く決定せしが池田長兵衛氏は飽迄松永達次郎氏を擧ぐべく努め其折合上遂に明治町派の杉山孝平氏を隱退せしめ池田氏の要求を容るゝ事となれり之が爲に彼の詮衡委員大坪文吉河内山辰藏伊藤友松の三氏は瞞眼當ならざる一派の暴狀を憤り斷然委員を辭すると共に將來の運動を中止すべしと云ふ

▲龍山側の立場
龍山は孤立到底勝算の望みなきは何人も知る處なり若し此儘放任し置かんか結局一人の議員をも撰出し能はざるべく斯くては民團自治制の運用上面白からざる現象を見るべきを以て相互感情の融和を計り少くとも五名丈けは推薦するの要あり而して地區的關係より見れば所謂西部最も龍山に接近の便あり故に何等か妥協の途を開き以て公共の事に處せざるべからずと思ふに龍山の確執に就ては種々の事情あるべけんも此際自他の利益を思ひ地區的感念を去りて讓歩するを得策とす又民團理事者に於ても徒らに此形勢を傍觀するなく相當調訂緩和の勞を執りて可なり尙は龍山有志にて決定せる候補者は左の如し

渡邊五郎、豐古磯殿、岡井泉、村井甚七、德久米藏（以上五名）

民團議員豫選投票（十六日正午迄右票通計）

千五百八票	小林藤右衛門
千百十七票	增田三穗
八百三十四票	林田金次郎
八百十五票	前田熊市
七百七十票	和田常市
七百五十五票	松永達二郎
七百三十三票	三好和三郎
七百二十八票	山口太兵衛
七百十九票	中村再造
七百六票	森勝次
七百票	池田長兵衛
六百九十三票	曾我勉
六百六十五票	中島司馬之助
六百六十二票	古迫角次郎
六百二十票	秋吉富太郎
六百十七票	伊藤友松
六百十二票	近藤佐五郎
五百九十三票	田村義次郎
五百七十二票	皆川廣濟
五百五十票	古城梅溪
五百票	出三郎
四百三十二票	深水清
四百票	進辰馬
三百九十一票	大村百藏
三百七十八票	池田長次郎
三百七十二票	大坪文吉
三百六十票	大橋清三郎
三百四十票	海津三雄
三百四十票	佐野彥藏
三百三十七票	佐々正之
二百五十五票	鹽見榮五郎
二百三十一票	小川勝平
二百十一票	待井三郎
二百七票	山下新太郎
二百票	益永十作

三十四票旭大吉、二十五票佐右平吉、二十二票松尾元之介、二十票二好四郎、二十票田中嘉介、十票古賀其吉、十票天日常次郎、五票大塚權平

注意

前號に發表せし得點者にて其儘なるものは本日の表に加へず尙本日よりは二百點以下の點數の得點は新候補者以外は不掲載

●牡丹麥酒株式募集
東京大阪九州朝鮮等の實業家發起となり資本金二百萬圓と以て設立計劃中なる牡丹麥酒株式會社は釀造場を福岡縣門司附近に設置し關西九州滿韓南洋等に亘り販賣する目的にて總株數四萬株の中三万五千株は發起人に於て引受け殘り五千株を公募する事に決定し來る十四日より廿日迄一週間募集、當手たるは之が發表前既に申込者頗る多く締切迄には數倍の超過を見るべき形勢なりと

公人私人
▲中山民三郎（騎兵大佐）　十五日釜山へ
▲木田森介（水原模範場長）　同水原へ
▲村井靜夫（京畿道慈惠院長）　同開城
▲中松盛雄（農商務省特許局長）　同釜山
▲佐波義實（總督府通譯官）　總督に隨行して釜山へ出張中之處今夜歸任

▲京城手形交換高▼

一月	金高	枚數
十六日	二〇八、二三三、九二一	二九七

▲治外法權▼
過日總督府が發布した會社令を會社撲滅だとか、或は產業不奬勵だとか、種々の難題を附けて非難を試みる者が内地に起つて來た特に政友會の如きは何と心得てか會社令を議會の問題にするなぞと喋ぎ出した▲内地人士の會社令非難、其目ふ所を綜合すれば、總督府の會社令は母國の商議を無視した軍隊政治の產物だと或程半島現下の事情と知らずして單に法文だけを見て論斷する者にはコンナ說が起りソウな事だ▲併し併し考へて見玉へ現在半島產業界の實情はドンナであるか、若しも内地の戰役後の際の如く種々の泡沫會社が現出したら半島產業の前途はドンナになるか▲ヤレ甜菜糖、ヤレ煙草、ヤレ勸業會社、ソレはソレはトンでもないものが現はれて半島產業の發達を呪ふではないか、ダカラ記者は普通の法律兩下には反對するが會社令許りは賛成した▲尤も迅いて考へて見ると内地人士の云ふが如くコンナ究屈ソウな會社令の在るのは事情止むを得ぬとは云へ吾人半島經營者の恥だ、而らばドウすれば良いかと云ふにまづ吾人奮勵して半島經營の歩を進め、コンナ究屈ソウな會社令なぞの必要が無い樣にするにありだ▲漢城銀行令が發布され、漢城銀行總會が增資を決議した、ヂ同銀行は愈三百萬圓になることになつた▲トコロで記者は同銀行の增資に關し憂慮するところがあつたしめ氣附いた點を過日の紙上で發表した、恰も良し度支部當局者も記者と意見を同ふしたと見え漢城銀行令の内容が用意周到に出來た、モハヤ漢銀增資に關する記者の憂は杞憂となつた▲高崎安彥男が四十三歲を一期として物故したのは惜しい事だ、在京城同男生前の友人は男の爲めに追悼會を催してはドウか

特別廣告

京城居留民團民會議員
西部候補者（イロハ順）

池田長次郎君
大村保太郎君
海津三雄君
高橋章之助君
曾我勉君
中島司馬之助君
松浦源治君
深水清君
榊原長緒君
三好和三郎君

也

右推薦候

明治四十四年一月　日

西部有權者選擧事務所

活動寫眞　覆面子

十六日 朝の南大門驛

綿の薄絹を展べたように夜はほの〴〵と明け渡つた、一秒々々に深い闇は消へて、南大門は正しい輪郭を浮かす、長蛇の如き街を寒風に曝されて行けば、藁葺の家より飛出した雀は囀りながら夢のように消へた、左視右眄、**停車場**に入れば、人なく淋しい、無意識に**暖爐**に吸ひ付けられて**沈默**、次第〳〵に暖い血が湧いて、ふと一首を口吟む、見筆の子漂浪の子打ち交へて暖炉を圍む停車場の冬

手荷物扱所を覗けば、黄州停車場止高杉生彬殿　京城本町　**増戸銃砲店**出の木箱が目立つ、福岡市西町、**待井三郎**の行李は棚上に置かれて、開城桂標、京城府**丁子屋**洋服店出ハボール箱を小僧が持ち來る、一等室には、**青山ナツ**と記名した大きな信玄袋が人待つように置き放してある　**三等室**には**門司揚、上田利平**と記した**大工道具**と古き行李があつて、傍らに立つ人の目は潤むさうだ、

去つて、タイムは迫るが、寂寞の場内は依然として寂寞だ、水草を追ふ民だなア、果敢ない戚しが、ひしと胸に迫る、風が吹き込んでぱつと塵が揚る、

午前九時二分、緩やかに南行の列車は去つて、

同九時十二分、北行の列車も去つた、

暖かき**南**に**人**が**多**く、**寒**き**北**には**人**が**少**ない、あゝ**水草**を**追**ふのだ、

十五日 かるた合戰
▼浪花館に於ける ▼一等は霞の前田

本社主催第二回京城歌留多大競技大會は既報の如く十五日明治町**浪花館**に於て**開催**せり豫定の午前十時には各會の選手五十餘名、準會員百五十餘名の來會者を見たり一昨年の第一回に比し競技者の數頗る少なかりしは團体としても個人としても悉く**一粒撰り**の**名手**のみ戰鬪に加はりたる爲めなりしは彼の準會員の數多かりしに徴すべし競技に入るに先立ちて先づ兩三番の手合せありて**餘興**に岩本曉湖の**筑前琵琶**あり終へて本競技を開始すそれから會の松岡、霞會の前田、福田、小山、漢江會の永田草野、大路の三宅、貫會の志賀君等審判たり午後三時三十分に至り**撰手**は**左**の**如**く**定**まる

名越、安立、佐藤、永海、高橋、福島、永田、草野（以上漢江）岡宮、馬路（以上それから）隅田、石迫、前田（以上霞）田邊（貫）寺岡（無所屬）

此れ所謂錚中の錚々たるもの、草野、永田、田邊等の讀みの下に龍攘虎搏の戰鬪は開始せらる、福島、貫の田邊に破られ石迫は漢江の永田と戰うて無念の涙を飲んで殪る漢江ノ草野はそれからの豪將岡宮女史と對峙したるが時利あらずして擊退せられたり次は**そ**れからの飛將軍**馬路**は**霞**の首將**前田**に對して堂々整々の態度を持して當日の第一人たらん事を爭はんとするなり此れに對する前田敵を過重して悠揚の態を欠きたりし感ありしも駿馬未だ鈍ならず五枚の差を以て遂に**月桂冠**は前田の手に落ち、本社の懸賞「**京城新報社主催歌留多競技會一等賞**」と刻したる**銀時計**及織居時計店より寄贈せられたる**赤銅金張鎖**りは優勝者たる**彼**れが**胸間**を**飾**る前田君萬歳の聲は階上準會員席より放たれ衆之れに和し堂爲めに振ふ

一等前田（霞會）二等馬路（それから）三等岡宮女（同上）四等草野（漢江）五等永田（同上）六等石迫（霞會）七等田邊（貫會）八等福島（漢江）九等滿田（霞會）十等高橋（漢江）十一等寺岡（無所屬）十二等永海（漢江）十三等佐藤（同上）十四等安立（同上）十五等名越（同上）

賞品授與に先き立ちて**峯岸本社長**より大略下の如き挨拶あり「諸子の技術一昨年に比して甚だしく進歩せるは喜ぶべし本社が歌留多競技を奬勵するは遊技として當に高尚なるが爲めに非ずして正大公明の氣風を養ふ力あるべきを信ずるが故である、之れを今日の競技中に見て吾人の所信の誤らざるを知つた开は幾十血氣の壯士輪扇を爭ふ場裡に在つて一怒罵の言を聞かざりしに徴してもわる、諸子希くは今日の心を以て益々斯技の中に此の妙諦を覿ずるに勉められんことを」と右終つて**賞品**を**授與**し散會したるは午後六時を過ぐる廿分なりし因に當日委員として盡力せられたる内に就つれ甲乙あるべくはあらねど**特**にそれから會の松岡、霞の小山、貫の志賀、漢江の永田等諸氏の勞を多とし更らに右の内にて斯界の**宿將松岡**氏及**小山**氏の競技を度し委員長として盡力せられたる勞に**感謝の意を表**し浪花館主及び料理店はつねの便宜を計られたるに對し其厚意を謝す

尚は當日の懸賞として寄贈せられたる向の芳名を錄して謝意を表す

大倉發行 當用日記十冊　本町二丁目　**日韓書房**
麒麟 常盤木十箱　長谷川町一丁目　**廣江商會**
寫眞撮影券（中判ブロマイト二枚組）二組　本町二丁目　**岩田寫眞館**
南大門通り　**辻屋**
巻煙草 灰落し五個
タオル一打　本町四丁目　**丸一吳服店**
赤銅金張鎖一連　本町四丁目　**織居商店**
箱入上等栗田燒菓子器一個　本町二丁目　**前田陶榮社**
上等羽織紐一掛　本町四丁目　**百福號**

紘吟會例會開催

來る廿二日（第三日曜日）新年宴會を兼ね第二回紘吟會開催可仕候條本紙愛讀者及び投書家諸君萬障御繰合せ奮つて御賛同御參會被成下度候

課題　元結　雪　猪　（情歌）
日時　廿二日正午より
場所　南山町一丁目初音
會費　貳圓（當日御持參の事）
（追而御出席の御方は前日正午迄本社へ御通知を乞ふ）

正月　**幹事**

標準カルタ二組　本町四丁目　**町田文林堂**
東京新聞購讀券五枚　**盛文堂**
置時計一個　本町二丁目時計商　**喜多金光堂**
上等襟巻メリヤス上下　**菊家文之助**
敷島大壹箱　**菊家小鈴**
懐中鏡三個、文鎮二個、帯買入一個、れたから
本町二丁目　麒麟ビール　**明治屋**
新天地五冊　**京城通信社**

●總監部とペスト

警務總監部にては告諭一號を以て清國長春、奉天、大連ソ各地にペスト病熾んに散發し益々蔓延の兆あるを以て此際に於ける心得方左の如く告諭せり

一、ペスト病は主に鼠族の媒介により病毒傳播するものなれば各戸捕鼠器を備へ又は捕鼠劑を使用し若くは猫を飼養する等手段を盡して驅鼠を勵行し尚は蚤、虱、臭虫等をも驅除するに努むること

二、住家は勿論倉庫、納屋等は鼠族の棲息又は潜伏するに適するが故に鼠の侵入を防ぐ設備を爲すこと

三、家庭の内外は常に清潔を保ち居室は時々空氣を流通せしめ且つ日光の射入を圖ること

四、常用する寢具被服の類は毎日之を清潔にし且つ時々日光に乾曝すること

五、毎々身体皮膚を清潔にし殊に皮膚の傷痍は病毒の侵入門なること多きが故に凍傷ヒビ胼胝等に罹らざる樣注意すること尚は肺ペストは呼吸に依り感染することあり病毒侵來の場合は特に注意すること

六、毎に攝生を重じて健康を維持し殊に寒冒に罹らざる樣注意すること若し身体に違和を感じたるときは速に醫師の治療を受くること

●大賊の逮捕

客年十二月十二日龍山新市街徳久米藏方に於て二名の兇賊侵入し絹布衣類等四百餘圓を竊取せられ其筋の嚴重なる手配の下に其内の一人島根縣簸川郡牛田町三原寅太郎（四二）は終に龍山警察署の手に逮捕せられ取調の上京城地方裁判所に押送せられたるも共犯者は行衛不明にて手を下す由なかりしが十六日午前三時寒月を浴びて龍山署の井上巡査細心警邏中旭橋通りの某家にて何者か室内を物色せる物音を聞付け警棒揮ひ直ちに其賊を逮捕し本署に引致し取調べたるに豈測らんや當時の共謀者の一人山口縣下之關觀音崎町吉田竹次郎（三九）なりしこと判明したるが同人は前科十數犯を有する稀有の大賊なり井上巡査近來の成効と云ふべし

●旅費が無くて罪

高知縣土佐郡小高坂村三百六番戸當時京城獨立門通り三丁目居住小島久壽男（二六）は昨年七月二十六日郷里朝倉小學校内に於て擧行せられたる簡閲点呼に參會すべき令狀を受けしも現住所より歸國すべき旅費なき爲め出頭せず陸軍召集令違犯として告發され京城區裁判所にて罰金一圓に處せらる

●衛生人夫の怠慢

此の頃の寒氣に恐れてか各除穢人夫は飯々民家を見舞はざる爲め各家の便所溜れ不汚物は山をなし居れり肺ペスト流行の今日寒心に堪ねず

●觀音講說教　花園町曹洞宗日韓寺にては十七日午後一時より月並觀音講說教並に詠歌和讃等あり參詣隨意

●西大門外繁榮會　西南大門外十數ヶ町の有志等は門外の繁榮を計る爲め今般門外繁榮期成會なるものを組織し十五日午後七時より南大門外エーに會合の上海津三雄氏を創立委員長に小林虎夫氏久保六三郎氏を世話人に尚繁榮期成會委員として海津三雄中島司馬之助の兩氏を推選し種々協議の上散會せし由

●時計振興會　市内有力なる同業者の主催に係る京城時計振興會は其筋の監督の下に第二回會員を募集し二月十五日を以て〆切とする由第一回に比し提供品の種類も多く會員の利便は一層多大なるべしと該事務所は京城本町一町目金化堂時計舗に設置せりと云ふ

●金光教の新年宴會　京城在住の金光教信徒は去十四日午後二時より永樂町二丁目二十番戸の假教會所に於て第一回新年宴會を開催せり申込みある者の百五十五名一同着席するや總起立の上君ヶ代を合唱し配膳を了り發起人總代白石嚴雄氏の挨拶大講義善積順藏氏の祝詞來賓の演說あり神酒を頂き余興に移る牛花、福引、舞踏、奇術演技蓄音機、淨瑠璃其他種々の隱し藝等あり拍手喝采沸くが如く一同十二分の歡を盡して解散せしは十一時過ぎなりし當日は流名信徒の催しとて質素を旨とし亂雜に流れず万事整頓せしは近來珍らしき會合なりし

●演藝だより

●壽座　市川鯉三郎片岡梅十郎一座十七日の替り狂言は有馬紋怪猫奇談大序より大詰迄

●浪花館　大人氣大評判なる東京落語音曲手踊米枝一座にて木戸場代共二十錢均一なり

●竹園館の義太夫　本日は仁川素人義太夫會を當地れ馴染の竹園館に於て擧行する由なるが定めて斯界の有志撿び御れば盛況を呈すべく傍聽御希望の御方は下足料二錢御持參あれとの事

▲平民文欄▼

▲名物であつた昨冬より仁川には幸い火事がないと思つて居たら本年になつてから最早や二度もあつた今年は祝融氏も鮮人側に徘徊して居る樣だ今に日本町にも來たろしれ互に要心が肝要ですね（火雄坊）▲仁川歌舞伎座に開演中の郡一座を見にわつたが餘り上手な居ないかはり下手も少ない先づ中れ撿ひとでも言うかわれで潮を演じたら定めてよく出來るだろうな（丁稚）▲新報記者足下時事問題を巧に捕捉して輿論の在る處を發表せらるゝ予輩尤も多とす只憾むらくは實業經濟方面に對する記事の鮮少なる事を（望蜀生）▲覆面子の活動寫眞面黒く拜見イヤモれ寒い中御苦勞樣と申すの外なし然し乍ら其名の活動寫眞なる如く今少し記事は多方面に亘らん事を希望す、サリトはれ身が續きませぬ乎（八方子）▲發行停止は吾人讀者の一大苦痛たると共に貴社も亦讀者に背くの眞理を解得せられたるにや近來治外法權其他に顯はれたる峯岸氏の峯と見るべき言論何となく物足らず感せられぬ惜問す峯岸氏元氣旺盛なるや鈍た言論壓迫の事茲に及ばせにや（公値生）▲不觀殺（小僧）▲市内に販賣せる狩獵鳥時々腐敗物を賣却す警察官の一顧を要す（注告生）▲昨紙上て資本家御求めに相成候實業希望に付委細御通知を乞ふ（京城旭町一丁目田村作次郎内岡吉卯作）▲活動寫眞南大門は京城新聞中の花だ是非斷續なく揭載を希望すならば最初の樣に文學趣に書いて欲しい（待乗生）

●けふの日●

●一月十七日舊十二月十七日●六白丁亥佛滅閉△一白 業務上便宜あり日どす子孫の計を爲し雇入れ婚禮に好し△二黑 旅行入學門起業開店に忌む其他進んで吉△三碧 諸事控へ目の事 品授受計算證券貸借の事故障が違わん△四綠 旅行起業賣買貸借婚禮見合すべし横領遺失盜難注意すべし△五黃 業務及交際上不平不滿ある日さす尚疎漏失念惹起し易し△六白 委任代理仲介周旋示談婚禮新聞旅行見合せの事遺失防ぐべし△七赤 證券帳簿の事故障起り易し酒色紛爭を戒しむ△八白 計算謀議不動産の事に忌む其他靜事の日進んで一△九紫 人の爲め世話煩累あり新年手控への事旅行轉住見合すべし

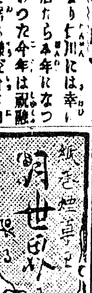
（本町五丁目三一 館執筆）

廣告

購買廣告

一獨逸ザラ紙四六判　外一點
一看守帽　外十五點
右購買ヲ競爭入札ニ付ス詳細ハ一月十六日朝鮮總督府官報ヲ見ルベシ

朝鮮總督府



小生儀今回エールリッヒ氏發見新劑驅黴療法（六〇六號）實地研究の爲め本月二日出發東京醫科大學に於て見學 月下旬歸京後博く該患者の注射療法の需に應す

京城旭町一丁目
鈴木外科醫院
鈴木謙之助

齒科診療
京城南山町二丁目（天眞樓跡 寫眞館跡）
齒科醫 **楢崎東陽**
電話千三百六十番

文房具 和洋紙 測量器械
シノサキ本店
京城本町一丁目郵便局前
並買次營業申候
電話六四八番 振替朝鮮一五四番

京城太平町一丁目南大門北入右側電話二二一番
多田不動産信託所

◎信託要項
△不動産放資金の運用信託
△土地建物鑑定價格測量
△貸地貸家田畑管理信託
△地料家賃小作料保護監督
△貸地貸家小作地賦料案内
△土地家屋田畑賣買典當
△山林荒地鑛山賣買典當
△家屋月賦建築受託
△建物動産火災保險取扱

當所有市街宅地南大門外中央約四千坪破格貸地あり

▲放資信託
低利抵當貸金信託あり貸付資金なき擔保物件の申込あり

◎賣買信託
土地家屋田畑買入希望者あり又同賣物の依囑あり

◎小口質物
秘密御預り可申土藏附新築所有藏置にて保管完全

當所は太平町南大門北入右側新築落成
質店は太平町南大門北入右側新築落成

今般弊社境内高燥清潔なる衛生地域をトし完全なる病畜舍及治療室を新設し技術鍛錬の專門獸醫を傭聘し汎く大小動物家禽の診療に從事す

入院　隨意
附屬　京城　**家畜病院**
野獸場種畜牛、豚、山羊、家鴨等蕃殖致居候間隨時御來場御購求の程願上候

京城南大門外
韓國畜産株式會社
（電話八八番）

◎**唐箕万石千石**
其他農具一式
右特別安價に製造販賣仕候樹陸軍御用命被下度事願上候詳細直段は御照會次第早速御返事可申上候
龍山新市街京町
古田德五郎商店
電話七〇一番

제602호 1911. 1. 17.

諸公債諸株券 現物賣買 迅速確實に御取扱可申候 兼業 洋服御小賣 鐵道官衙御用達 京城本町三丁目 大坂野村商店七代理店 田中友吉商店 電話九三九(?)

質 京城太平町二丁目三〇一元憲兵隊跡 確實の擔保低利貸付融通す 古着賣買 宮永金藏 京城支店

質 京城旭町一丁目度支部官舍向御横路突當 塙見質店 旭町二丁目自府廳裏路曲突當

◉貸金 旭町二ノ一五別府組車帳場筋向小路 高橋 有給者にて極秘密に低利融通可申候

純良消毒牛乳 京城東四軒町 岡野牧場 電話千六十九番

入院隨意 中島醫院 京城壽町三丁目(電話三七八番) 院主醫學得業士 中島貞信

内科 外科 小兒科 梅毒淋病 入院隨意 高井醫院 京城壽町三丁目 電話(二二六) 院長 陸軍軍醫正 高井貞治

佐賀セメント 今回販賣致し候に付多少に不拘御用命被仰付度奉願候 佐賀セメント株式會社 京城代理店 南山町二丁目 電話三四四番 山村商店

廣告 内地時價騰貴の爲め本月二十日より清酒一挺に付金一圓値上仕候間此段廣告す 明治四十四年一月 仁川酒商組合 京城酒商組合

萬歳歯磨

歯を白く、歯の根を固め 口腔を清く、黴菌を殺し こゝちすが〴〵しうなりて [illegible]のしごこ、夜のねむり 皆すこやかなるは 萬歳歯磨あるに依る
▲定價 ニツケル製歯磨子器入五拾錢 ニツケル製出張入卅五錢 ニツケル製出張入參拾錢 桐箱入拾貳錢 小袋入六錢
代理店 京城新井藥房

牡丹麥酒株式會社 株式募集廣告

一 募集株五千株 總株四万株の内三萬五千株は確定引受 但申込株數が募集株數を超過したる場合は創立委員に於て之を减分す
一 申込證據金 一株に付き金二圓五十錢
一 申込期限 一月十四日より同二十日まで
一 資本金 總額二百萬圓、總株數四萬株、一株の金額五十圓 第一回拂込金十二圓五十錢(但し證據金を併算す)
一 營業の目的 麥酒釀造販賣及之に附隨する業務 但し本社は醸造場を福岡縣門司附近に設くるものにして地の利販賣の便等優越なる特長を有す

發起人
東京 國澤金次郎 東京 園田實德 東京 矢吹重權 東京 山下敬太郎 東京 三武久 大阪 高橋安次郎 大阪 中村秀五郎 大阪 中野壽吉 大阪 梅原龜七 贊成者 大家七平
大阪 中村準策 大阪 阿部朝田 大阪 濱中八三郎 大阪 大崎幸四郎 神戸 藤井忠兵衛 兵庫縣 南惣一郎 兵庫縣 家入安 下ノ關 松尾寅三 下ノ關 内田吉三郎 高倉藤平 宮崎敬介
下ノ關 藤谷禎造 下ノ關 關谷福太郎 下ノ關 森治郎 門司 山田彌八郎 門司 岸耕三郎 門司 中村弘 門司 中石剛光 小倉 平田豐廣 佐世保 森永泰兵衛 辰馬半右衛門 外數十名
山口縣 藤本治助 釜山 大池忠助 釜山 迫間房太郎 釜山 五島甚吉 釜山 阪田文吉 釜山 永松數一 釜山 鄭松磊奇

牡丹麥酒株式會社 創立委員長 伯爵 金澤廣次郎

取扱銀行
●北濱銀行大阪本店 同東京支店 同名古屋支店 同京都支店 同神戸支店
●百三十銀行大阪本店 同小倉支店 同若松支店 同博多支店 同京城支店 山支店
●仁川支店 ●日本商業銀行兵庫本店 同門司支店 同長崎支店
商業銀行 ●第三銀行大阪支店 ●熊本肥後銀行 ●十八銀行釜山支店 ●佐世保銀行
行釜山支店 ●福岡十七銀行 ●周防銀行廣島支店 同釜山支店 ●第一銀行 同馬關 同釜
●申込用紙並に定款は取扱銀行及創立事務所に備付有之候
創立事務所 大阪市北區堂島中町二丁目二十九番地(電話東一、一七四番)
出張所 門司市東本町一丁目三一〇二番地 電話三三七番

實用新案 第一八六二二號
如何なる寒風も恐るゝに足らず
ポケット附めりやすチヨッキ
大陸の寒風に吹かれ給ふ紳士、勞働者、婦人諸君、是非に弊店のめりやすチヨツキを着用し給へ、外で働く人には重からずして暖かく、內にゐる人には輕くて肩がつまらず、体裁最も宜く然も丈夫で洗濯がきく色は御男子用には樺色モク、カスリモク、御婦人用には紅梅色の派手なのがあり殊にポケツトは裏にも表にも附いて之が便利安全の新案實用、さあ〳〵早く召しませ〳〵

大阪市東區北久寶寺町二丁目 メリヤスタオル商 吉野善兵衛商店 長電話東三二四四番 振替貯金座口大阪一一三三番

幸福なる生涯を營まんと欲せば先づ身體を强健にせよ
身體の强健を希望せば必ず蜂印香竄葡萄酒を飲用せざる可からず
類似品あり 蜂印に注意あれ

然り本酒は身體の健康を助長する無二の滋養供給者にして如何なる虛弱者と雖も不斷之れを飲用せば心身共に快活を覺えて眞に歡樂の境に活動する事を得べし
東京日本橋本町 近藤利兵衛

商標 ドクトリ丸
はいどく・そうどく・りんびやう・きつけ下し
三包十錢、半週二十錢、壹週四十錢、貳週七十錢、參週壹圓、五週壹圓廿錢
ドクトリ丸は全國到る處の藥店に取次有御求の節は丁子の商標に御注意を乞ふ
本舖 大阪四ツ橋西南詰南 本林丁子堂
京城南大門通三丁目電話九〇四番一〇六八番振替口座朝鮮十六番 代理店 新井藥房

廣告
一 佛國レロイ社製壁紙各種
一 英國ランカスター無地リノリユーム
一 ボンメル蝶番各種
右多數貯藏致居候間御注文願上候
明治四十四年一月 京城エル、ロンドン商會 吉岡信太郎 電話九九五番

エールリツヒ、秦兩氏發見
梅毒新藥(六〇六號)
◉原品到着に付注射開始 本劑注射に就て特に府立大阪高等醫學校病院皮膚科部長恩師醫學博士櫻根孝之進氏より詳細なる指導を受く
◎貧者無資力者にも普及救濟の主旨に由り注射料金低減を實行す
◎嘗て當院治療を受けたる人々には特に便宜を與ふべし
花柳病痔疾專門 診療 自午前八時至午後八時 相生町南門湯横(電話一二九四) 京城梅毒病院 院長 醫學得業士 蘆田耕平

營業科目
和洋紙類 印刷材料品 印刷インキ 和洋書籍 [illegible] [illegible] [illegible]
營業販賣
藤田合名會社
本社 京城明治町二丁目(電話三〇[illegible]) 出張所 [illegible]

移轉廣告
一 弊店等日鮮合邦と京城府發展に伴ひ從來の場所にては不便利に付左記へ假新築移轉仕候間舊倍の御引立の程奉願上候且弊店等の店前には日本人朝鮮人支那人等共に多數開店卸小賣に係らず勉强營業致させ居候に付食料品は全部立所に取揃候間至極便利に有之候共に御引立願上候
京城南大門內南米倉町
丁 池尻林太郎商店 電話三五一番 振替口座 八六番
刃 辻本嘉三郎商店 電話六四一番 本宅 旭町一丁目 電話一四七番 振替口座京城三八番
仲買人一同

和洋足物各種 堅牢で廉價な[illegible]
新案 ㊈たびもた
京城本町一丁目 ㊈ 東原商店 電話四八三番 出張店 [illegible]

エールリヒ秦氏 新梅毒注射藥
右新劑サルバルサン到着本日より隨時注射治療致候(入院隨意)
一月十一日 京城南山町二丁目 松岡醫院 電話六七五番

酒精アルコール 直輸入元 仁川花町一丁目(電話六五〇番)(電略サ) 坂倉支店

世帶道具は何でも有り升
外に宅ノ酩酒手ヨリ白米和洋ローソク上白シメ油㊫醬油ハ特約品
右品質上等直段下等大勉强販賣仕候間續々御用命奉願上候
日用雜貨卸問屋 京城本町六丁目 西崎嘉七本店 電話二百十番 電略(ニカ)又ニ 振替貯金口座朝鮮七番